



一本松まちづくりひろば

14

発行：一本松まちづくり協議会 発行責任者 杉山 邦彦

○■ 平成24年度 定期総会並びに第1回まちづくり検討会開催 ■○

去る5月27日(日)の14時から16時にかけて、西戸部二丁目第一自治会・羽沢西部自治会のまちづくり委員29名の他、地域住民の方、行政、支援団体の方々ご出席のもと、24年度定期総会及び第1回まちづくり検討会が行われました。

1部総会では、1号議案：平成23年度事業報告

2号議案：平成23年度決算・会計監査報告

3号議案：平成24年度事業計画

4号議案：平成24年度予算

5号議案：まちづくり委員・役員の確認

以上についてすべて承認可決されました。



まず自分が助かる！ - 防災マップ作り -



2部では24年度1回目の検討会が実施され、横浜プランナーズネットワークの山路清貴理事長に講演をして頂きました。

山路氏の防災マップ作りの意義と必要性のお話を聞いた後、自治会別に2グループに分かれ、河野事務局長より防災マップの内容の説明を受け、マップを基にまず自分の家の場所を探し、地図上で災害発生場所を想定し、どう逃げたら良いか避難路探し等活発な討議をおこないました。

まちづくり委員の名簿

羽 沢 西 部 自 治 会				西 戸 部 二 丁 目 第 一 自 治 会			
番号	氏 名	番号	氏 名	番号	氏 名	番号	氏 名
1	米岡 美智枝	11	川村 美江	1	杉山 邦彦	11	大島 綾子
2	河野 史明	12	萱沼 君子	2	稲葉 高久	12	赤司 伊美子
3	芝山 昂子	13	酒井 保子	3	齋藤 明	13	豊島 千代子
4	田中 真理世	14	村上 圭三	4	高橋 宏	14	和田 和子
5	川島 明弘	15	浅葉 喜久	5	奥山 孝	15	鈴木 美智子
6	八木下 実	16	大峽 洋一	6	井上 富義	16	西田 千寿子
7	川崎 義亮	17	岩崎 玲	7	横田 昭納	17	加藤 緑
8	粉川 尚人	18	川井 和子	8	佐藤 謙司	18	近藤 和江
9	木部 久子	19	本郷 正義	9	雨宮 昭次	19	薄井 光子
10	瀬戸 満知子	20	早川 あい子	10	金子 英治	20	

「一本松防災地図」が完成!!

A2版・両面

非 公 開

裏側は拡大地図です。

全自治会員に配布しています。
申込・お問合せは各自治会にご連絡ください。

☆いざという時、安全な場所へスムーズに逃げられるよう、道を覚えるための地図です。

☆必ず、目に見える場所に貼るか、吊しておきましょう。
(決して、本棚や引き出しなどにしまわないでください。)

使い方の手順



- (1) まず、ご自宅を見つけてください。
見つかったら、印をつけたり、シールを貼ったりしてください。
- (2) “広域避難場所※”である野毛山公園を見つけてください。
見つけたら、ご自宅からの行き方を考えてください。災害時には道が通れないこともあります。2つ以上のルートを考えてください。
※広域避難場所とは地震によって大火災が発生し、炎上拡大した場合、その火災の熱や煙から生命・身体を守るために避難する場所です。
- (3) “地域防災拠点※”である一本松小学校を見つけてください。
同様に2つ以上のルートを考えてください。
※地域防災拠点とは地震などで家が倒壊したり焼失したりして住む場所がなくなった人が、一定期間避難生活を送る場所です。地域防災拠点には防災備蓄庫が設置されていて、食料や防災資機材が備蓄されています。また、住民の安否確認など情報発信の拠点となります。
- (4) 考えたルートがどんな道筋か、地図の凡例を確認しながら想像して見てください。
- (5) 実際に歩いて道順を確認しましょう。
ご家族などと一緒に、この防災地図を見ながら、実際に歩いて道順を確認して下さい。慣れてきたら地図を持たずに歩いてみましょう。

一本松まちづくり協議会 平成 24 年度事業計画



①昨年度から継続しておこなう事業

- *両自治会内の狭隘道路の改善をめざします。
- *現存する井戸の活用を考えていきます。
- *空き家の防犯防災上の危険性を考え解決を目指し行動します。
- *建替、新築の集合住宅のゴミ集積所の設置をお願いし、セットバックした道路への対応を地道に且つ迅速に行っていきます。
- *防災まちづくり計画を実現するため、実現化出来る事から事業化していきます。

②先進事例の見学会を実施します。

防災まちづくりに取り組んでいる地域、団体を訪問し情報交換・意見交換をし、まちづくり協議会の活動に取り入れていきます。
同時に他からの両自治会への見学会・現地研修会など積極的に受け入れていきます。

③まちづくりニュースを発行し防災意識の啓発に努めます。

活動報告、防災情報を地域の皆さんにお伝えしています。

④「まち歩き」「研修会」「講演会」を企画開催します。

地域の皆さんに自分達の住んでいる環境を知ってもらい、被災時の避難路など日頃から頭に入れておいて下さい。

⑤井戸、かまどベンチなどの活用方法を検討していきます。

今後の防災施設の配置及び維持管理を検討していきます。
災害時の生活用水の確保として井戸の活用、炊出し用に設置した西戸部公園のかまどベンチの活用法を検討します。



井戸の活用例

本郷町 3丁目見学会

⑥防災マップを作成し全自治会員に配布します。

最大標高差 20mの傾斜地を有する地域ならではの災害時の避難路を表記する災害マップを作りました。ニュースと一緒に各戸へ配布いたします。配布後、両自治会でマップについて勉強会を開催します。災害時に備え皆さんの積極的なご参加を期待しています。勉強会へは配布されたマップをご持参下さい。

⑦災害時用情報伝達システムと災害時用スピーカーの設置について検討します。

インターネット、携帯電話、掲示板等を使って災害時地域の情報を地域の方々、地域外の職場、外出中の方々へ伝えられるシステムや、地域に緊急情報を伝えるスピーカーの設置を検討に入ります。
次年度にかけて実現化できるように計画しています。



岸谷地区の防災スピーカー